

■米国：カリフォルニア州、クリティカルピーク料金の導入を延期

カリフォルニア州公益事業委員会（CPUC）は 2011 年 11 月 10 日、PG&E 社管内の最大使用電力 200kW 未満の商工業需要家への標準料金メニューとしてのクリティカルピーク料金（需給状況に合わせて設定されるピーク日の規定時間帯に限り、ピーク料金が適用される料金制度）の導入を 2014 年 11 月に延期したと発表した。当初、2011 年 11 月の導入が予定されていたが、PG&E 社からの延期要請を受け、2012 年 11 月よりベースとなる時間帯別料金（TOU）の先行導入を条件として、3 年間の延期が確定した。同料金制度ではオプト・アウト（意思表示により他の料金メニューへの移行）を認めているものの、フラットレートが廃止されることから、TOU を含む他の変動料金メニューに移行先が限定されることになる。なお、最大使用電力 200kW 以上の需要家への導入は 2010 年 5 月から既に開始されている。